

# バレンタインデー物語

～バレンタインデーのイベントから生まれた2人のパティシエ～



2月といえば、バレンタインデー。今や女性から男性にチョコレートを贈るだけでなく、義理チョコ、友達に贈る友チョコ、自分に贈るご褒美チョコなど、いろいろな形があります。職場で義理チョコを配る風習は薄れてきているかもしれませんが、世間では毎年高級チョコレートなどが話題になり、チョコレート好きな私も自分へのご褒美チョコを用意しています。

こんな話があります。ある高校で、女子が友チョコの話題で盛り上がっているのを見ていたチョコ好き男子2人が、「俺たちも友チョコしようぜ!」と意気投合し、家で“本気チョコ”を作ってきました。クラスメートには「男どうして?」などとからかわれたりしたのですが、2人の男子は「男だって、お菓子作ったっていいじゃん」と反論。それからの3年間、2人は年に一度競うように友チョコを作り、卒業間近のバレンタインデーにはクラスみんなに配るほどの人気になっていたのです。そして卒業後、2人はそれぞれの道に進むこととなりますが、次に2人が名を連ねることになったのは、世界的に権威のあるレストランガイドの紙面でした……。

海外の文化をもとに、時代とともに形を変えながら続いてきた日本独自のバレンタインデー。今年は、私もパティシエに負けないくらいのチョコを作ってみようと思います。

## 令和3年度ワーク・ライフ・バランス推進事業所

従業員のワーク・ライフ・バランスの実現のため、職場環境の整備や男女共同参画推進に積極的に取り組んでいるとして、以下の5社8事業所が新たに認定されました。詳細は、市ホームページをご覧ください。

- \*足利銀行（石橋支店／小金井支店／自治医大出張所／南河内リテールセンター）
  - \*株式会社川中子住建
  - \*株式会社小林工業
  - \*館野興業株式会社
  - \*日成興業有限会社
- 【認定期間：令和3年10月1日～令和6年9月30日】



## ご意見・ご感想をお聞かせください

「シェアリング～わかちあい～」を読んだご感想や、紙面で取り上げてほしいテーマを随時募集しています。男女共同参画に関して身の回りで感じていることなどもお寄せください。令和4年3月末まで(必着)にお送りいただいた方の中から、抽選で5名様に粗品をプレゼントします。ご応募は、住所・氏名・電話番号・ご意見ご感想を添えて、右下の二次元コードからメールで送信するか、郵便、FAXで下記事務局までお送りください。いただいたご意見は、個人情報を除き、市ホームページ等で公開させていただくことがあります。



発行・事務局

下野市総合政策部市民協働推進課  
〒329-0492 下野市笹原 26 番地 ☎0285-32-8887  
FAX 0285-32-8606 ✉shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp

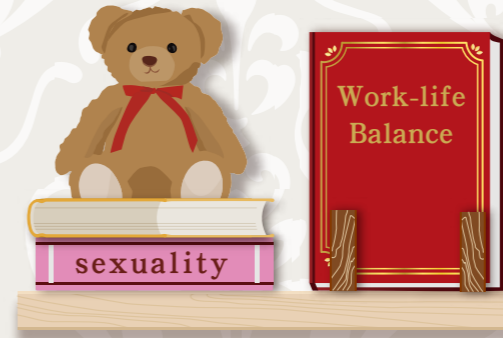
企画・編集

下野市男女共同参画情報紙編集委員会  
(飯野文夫／萩原敏美／九鬼眞澄／松嶋淑恵／八木橋祐香子)

# シェアリング 第27号

2022.2

～わかちあい～



## < 特集 > 自分らしさを見つけるヒント

人の数だけ、人生がある。  
あなたが自分らしい道を探し、自分らしい世界を作っていくために。  
その道探しに役立つような本をご用意しました。  
大切なあなたの心へお届けします。

\*掲載されている図書は、市立図書館に収蔵されています。  
市立図書館に関する情報は、ホームページをご覧ください。  
<http://www.library.shimotsuke.tochigi.jp/>



## 女の子だから、男の子だからをなくす本

ユン・ウンジュ 著 / イ・ヘジョン 絵  
エトセトラブックス 蔵書：石橋図書館

これからおとなになっていく子供たちに、「ジェンダーにとらわれない自分らしい生き方ができるように、一步を踏み出せるきっかけになってほしい」そんな思いが込められている本です。

カラフルなイラストで手に取りやすく、身近な事柄から「はっ」とさせられます。「かわいいはいわせない」「どうどうとこわがってもいい」そんなサブタイトルがたくさんあるので、気になったところだけ拾い読みするのも良いのではないのでしょうか。友達同士で読んだり、親子で読んだりして話題にしてみたいのもおすすめです。

そして、かつてこどもだった人たちにも、もっとステキな人になるためにぜひ読んで欲しい本です。



レインボーフラッグ\*  
って、なあに？  
(答えは左下)



男コピーライター、  
育休をとる。

魚返洋平



## 男コピーライター、育休をとる。

魚返洋平 著  
大和書房 蔵書：国分寺図書館、南河内図書館

『育休は、最強の出産祝いでした。』

日本社会で男性の育休取得率の増加が期待される一方、自分は男性が育休を取った場合の感覚や体験というものについてあまりにも知らなすぎると思い、手に取りました。

育休を取得した著者(男性)の「ママ友とは共感し合えるのに、パパ友とは語り合えない」といった体験談や、人口過密の都市部における保活\*の難しさなどが軽やかな語り口で綴られており、肩肘張らずに読むことができます。

また、出産や母乳など、男性が母親の代わりには絶対的になれない部分と、逆に代わりになれる部分、その中でも、代わりになるには能力的に努力を伴うもの(家事全般やそれに対する勘のきかせ方)や、制度や世間体によって現状はハードルが高いもの(男性の育児短時間勤務取得など)などについて語られており、とても勉強になりました。

男性の育休について知りたい方、自分も育休を取ってみたいけどどんなものか知りたい方、子どもを育てることについて考えたい方、ぜひ手に取ってみてください。



私がメガネをかけるように、  
車いすや補聴器を使う人もいる。  
性別だけでなく、だれもが  
色々な特性を持っているよね。



男性も『育児休業』を  
取れるって、知ってた？



\*「保活」とは、子を保育園に入園させるために保護者が行う活動のことです。



## 子どもジェンダー

シオリーヌ(大貫詩織) 著  
ワニブックス 蔵書：国分寺図書館、南河内図書館

『あなたのからだやじんせいは あなただけのものだよ』

ジェンダーやセクシュアリティにまつわる身近な36の質問について、具体的な場面で「どうする？ どう考える？」と問いかけ、「こうしてみるとどうだろう」と提案してくれる本です。

その言葉や考え方は、日々生活する中で取り入れたいものばかりです。

大人は無意識に染みついた差別意識を修正するために。

こどもは日常で「差別」を感じた場合の対処法、ヒントとして。

性別、セクシュアリティ、人種、障がいの有無など、みんなちがって、みんな「いいね！」

あなたは あなたのままで、このせかいで 生きていくだけで

もうじゅうぶん「すてきなひと」なのです。

かたつむりは  
オスでもメスでも  
あるんだよ！



## 男が働かない、いいじゃないか!

田中俊之 著  
講談社 蔵書：国分寺図書館

とても大胆なタイトルですが、この本では男性の働き方に焦点を当て、「男は仕事、女は家庭』『男性がフルタイムで働くのは「当たり前」』『男性は、働いてさえいればいい』などといったような、男性に決められたパターンの生き方しか認めないような社会の風潮について取り上げています。

「男らしさ」ととらわれず、「すぐに弱音を吐き、困難があれば簡単にあきらめ、それを恥とも思わない」。人生は長いのですから、時にはこうした適当さも必要です。自分の働き方を見直す第一歩として、まずはどのくらい生活が仕事中心になってしまっているかチェックしてほしいと、『男性学』の第一人者である著者は語っています。

男性学とは、「性別にとらわれない多様な生き方の実現」を目的とする学問。多様な生き方を認め実現することは、自分が人として尊重されるためにも必要なのです。

とても読みやすい本で、女性でもうなずける内容が多々ありました。自分を見つめ直すチャンスをもたらす本だと思いますので、若い世代の男性にぜひ読んでいただきたいです。



\* 6色の虹が描かれた「レインボーフラッグ」は、LGBT+(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど)の人々の尊厳や権利を守ろうという運動を象徴する旗です。  
虹のそれぞれの色は、LGBT+の人々が持つ多様性を表しています。